

西公民館だより

2019年2月10日 発行: 西公民館
福山市西町1丁目19-2 電話 925-0442
メール nishi-kouminkan@city.fukuyama.hiroshima.jp

明けまして おめでとうございます 元旦に新年互礼会を開きました

皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

西学区まちづくり推進委員会では元旦に西公民館で“新年互礼会”を地域の皆さまや学区内各団体より77名のご出席を頂き盛大に開くことが出来ました。昔流の年始の挨拶回りを、一堂に会してお互いお礼をしようと毎年行っています。

当委員会は、長年に地域活動にご尽力され、西学区民として明るく住みよいまちづくりを積極的に推進されてこられた方へ“西学区民賞”の表彰を行うなど、終始和やかな雰囲気の中、新年をお祝いして親睦を図る事が出来ました。

今年も西学区まちづくりへのご協力の程、よろしくお願い致します。



委員長挨拶



来賓挨拶



西小学校長挨拶



紅葉保育所長挨拶



万歳三唱



国歌斉唱



西学区民賞受賞者の皆さん



年男の皆さん

お正月の民俗



鞆・初日の出



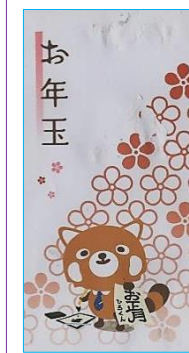
八幡神社の門松・注連縄



聡敏神社の鏡餅



お雑煮 水菜と蒲鉾



昔、お年玉は歳神様のミタマの宿ったお餅を配りました。今はお金になりました

●立派な門松を作ってもらいました●

■西学区まちづくり推進委員会の文化部会では、毎年元旦に、公民館で新年互礼会をしています。いつも学区内の皆さんが参加して、お互いに「礼」をもって大切にしようことを誓い合っています。毎年その会場の公民館玄関に「門松」が立てられます。

■今年も12月29日(土)9:00~10:00に、佐波町の宇ノ木さん・西迫さん・小林さんの3人が材料の竹と松と南天を山から切り出して、約1時間で見事な門松を作ってもらいました。

■「門松」は歳神様の依り代(目印)となるもので、歳神様は初日の出と共に神社や家の門の門松を目印に来られます。お正月の間、丸いお餅(鏡餅)に宿り、元旦に雑煮を頂くと、歳神様のミタマを得るので、一年の枯れた「ケ」(気)が元気になると言われています。門松を作って頂いたお陰で、益々まちづくりに取り組むことが出来ます。有難うございました。



孟宗竹を3本切って、酒樽に立て土を入れ、松・梅・南天・葉牡丹を添えて出来ました。3人そろって記念写真。



立派な門松の出来上がり

善行市民 80人・12団体表彰 福山、まちづくりなど貢献!

■第51回福山明るいまちづくり推進大会が12月15日(土)、「リーデンローズ」で開かれた。まちづくり活動や青少年の健全育成、文化の発展に取り組んだ80人と12団体を善行市民として表彰した。◆福山明るいまちづくり協議会が主催。地域振興に貢献した人に「ばら賞」、防犯や防災、医療福祉など功労のあった団体責任者に「せんだん賞」を贈っている。西学区からは、ばら賞1名、せんだん賞3名が表彰を受けた。◆大会では、市教委が子どもたちの活動や、学校と地域が一丸となった活動をたたえる「福山学校元気大賞」の紹介も行われた。西学区まちづくり推進委員会も徳山委員長が登壇して市教委から賞を受けた時のこととお話された。

●善行市民賞●

受賞おめでとうございます!

ばら賞	村上 和廣さん
せんだん賞	牧本 澄子さん
せんだん賞	宇ノ木俊治さん
せんだん賞	片岡 久美さん



(右)宇ノ木俊治さん 村上 和廣さん 徳山委員長のお話
(左)片岡 久美さん

福山市老連囲碁大会第2位に!

■平成30年12月19日(水)福山市老連本部(福山市老人大学内)で行われた福山市老連囲碁大会において、西桜町老人クラブの松本大七さんが囲碁の部第2位の成績をおさめられました。おめでとうございます。◆松本さんは西小学校の放課後子ども教室の「将棋」講座にボランティアで子どもたちに将棋を教えてくださいました。



子育て“ほっ~とカフェ” ミニクリスマス開かれました!

■12月18日(火)西公民館の会議室でまちづくりの子ども応援団事業として「ミニクリスマス」がありました。未就園児48人と母親58人が集まって楽しいクリスマスをしました。「窓から贈り物」の絵本の読み聞かせ、灯りの精のキャンドルサービス、サンタクロースのプレゼントなど盛沢山の催しにスタッフも一緒に大いに楽しみました。



消防団年末特別警戒激励!



市の幹部を迎えて敬礼

■12月25日(火)午後8時から、霞小学校において福山市消防団第3方面隊(霞・南・西分団)の年末夜警戒激励にともない巡視がありました。第3方面隊団員50名と消防車6台、南防火協会役員と各学区の防火防犯関係者20名が集結しました。◆市内の各方面隊を激励巡視する福山市長・東警察署長・福山市消防団長を迎えて、各分団長から現状報告があり、福山市長から慰労の挨拶がありました。終りに年末夜警戒最終日29日まで事故なく終了するように互礼しました。消防隊員の規律正しい言動に頼もしさと安心感を持ちました。

しめ飾りを作りました

■12月27日(木)、本庄町中2丁目町内会会館で女性会の行事としてしめ飾り作りをしました。町内の皆さんに声を掛けて20名集まって下さいました。講師に旭学区の久保博美さんにお越し頂いて2時間かかりましたが立派なしめ飾りが出来ました。先生が準備一切して下さいました。有難かったです。今回で5年目になります。家に飾ってよいお正月を迎えたいと皆さんは喜んで家路につかれました。



◆西学区民賞◆

受賞おめでとうございます!

名前	推薦団体
碓 直幹さん	西町北町内会
伊藤 博文さん	交通安全自治会
甲斐 亮至さん	神島町内会
片岡 久美さん	佐波町内会
小池 二郎さん	老人クラブ連合会
高橋 明美さん	西町北町内会
中川 元夫さん	佐波町内会
野上 孝昭さん	南本庄親和町内会
乗兼 誉敏さん	西小学校PTA

編集後記

今月号の「新年互礼会」の記事を編集していると、「礼に始まり礼に終る」言葉が頭を過ぎりました。

以前、剣道の試合に出た時のことでした。大学生と立ち合い、一瞬で負けました。私が防具を片付けていると、立ち会った学生がやってきて「有難う御座いました」と正座し手をつき頭を下げて礼をされました。私はビックリすると同時にこれが剣道の勝負を越えた「他人の気持ちを思いやる心の表れ」(新渡戸稲造『武士道』)の「礼」であり、剣道独自の礼儀作法だと知りました。日本人の気高い倫理性が今も生き続けていることに深い感動を覚えました。

何故、剣道がそこまで礼にこだわるのでしょうか。それは「お陰さまの心」がなければ剣道は上達しないからです。竹刀で相手を打っては反省をし、相手に打たれては感謝する、相手を深く思いやる心が「礼」の形になっているのです。この「礼に始まり礼に終る」剣道が日本人の精神を今日まで育んで来たのです。

元旦に公民館へ集い、互いにお礼をすることは、まちづくりに邁進する仲間同士の強い絆になっていくと思います。(公民館長記)